

聖徳大学短期大学部 保育科



All
For
One

平成19年度 文部科学省
新たな社会的ニーズに対応した
学生支援プログラム
(学生支援GP)に採択されました。

All For One をめざす学生支援活動
～ 全教職員によるインターカー・サポート ～

全教職員が、学生一人ひとりと向き合い支援する。 それが *All For One* サポート。

学生支援をより質の高い、ニーズに合った取組に。

学生生活、就職から女性特有の問題まで、学生たちの悩みや相談に、いかに早く対応していくか。

本学保育科の学生支援はクラス担任と学生部を中心に、これまでもきめ細かいサポートを行ってきました。しかし、相談内容が多岐にわたり、より良い対応を行うために、クラス担任だけではない支援の方法を検討する必要が出てきました。新しい取組のテーマは、すべての教職員が学生一人ひとりと向き合っていくことを目指した『All For One』。全教職員がインターカーとしての技術、意識を高め、学生たちの不安を早期に解消するしるみを整えることで、豊かな学生生活を送れると同時に、強固な信頼関係の構築にもつながっていくと考えています。

平成19年度文部科学省

新たな社会的ニーズに対応した 学生支援プログラム(学生支援GP)に採択されました。

学生支援GPでは、学生の人間力を高め、人間性豊かな社会人育成を目的に、各大学・短期大学・高等専門学校での入学から卒業までを通した組織的・総合的な学生支援プログラムのうち、学生の視点に立った独自の取組としてその効果が期待されるプログラムを選定(採択)しています。さらに、広く社会に対して情報提供しながら財政支援を行うことで、各大学等での学生支援機能の一層の充実を目指しています。

【本取組の選定理由】

すべての教職員がインターカーとなるための講習会を実施。教職員が常駐し、いつでも相談ができる、よろず相談コーナーの設置を中心に、これらと従来の組織とを有機的に連携させる取組が、他の大学等の参考になる優れた取組であることから採択されました。

支援の効果予測

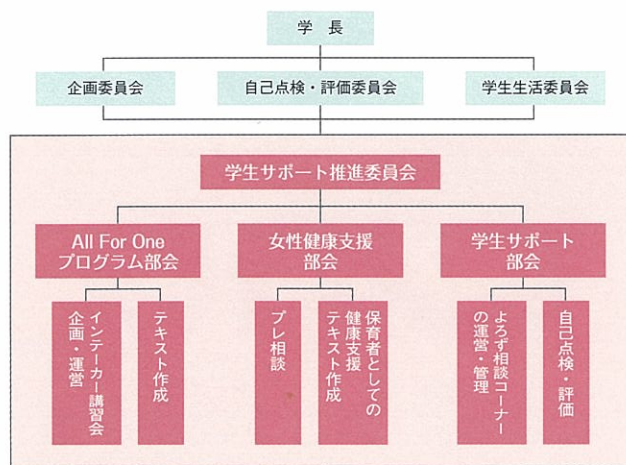
学生生活の悩みを早期に把握・対応できる環境に。

相談に迅速に対応しながら、学生の悩みや不安を把握することで、問題に対する素早い対処が実現。教職員の意識レベルの向上にもつながります。また、どんな小さな悩みも対応が遅れることで、学生生活に与える影響は測り知れません。早期に対応することで、学生たちは在学期間を充実して過ごすことができ、結果としてより質の高い学生を社会人として送り出すことにつながっていきます。

学生サポート推進委員会を新設し取組を客観的に評価する体制に。

学生サポート推進委員会の中に3つの実行部会を設置。それぞれの部会が計画を立案し、実行していく体制を整えると共に、常に保健センター、学生部と連携します。また、企画委員会、自己点検・評価委員会、学生生活委員会に対し、学生支援の状況を報告。学内で学生支援の取組を客観的に評価することで「学生のニーズに合った支援」を確立していく体制となっています。

● 学生サポート推進委員会組織図



保健センター／学生課／国際交流課／キャリア支援室／教務課／インターンシップ室／経理課

キーワード

「All For One」

一人ひとりの学生に対して、全教職員がサポートしていく体制を表しています。また、学生支援に対する取組を学生にわかりやすく理解してもらうためのものです。すべての教職員がインターカーとして機能することで、悩みや不安を早期に取り除き、学生生活の質の向上を目指しています。

「インターカー」

1次(最初の)相談者のこと。すべての教職員が1次相談者となることで、学生の相談に迅速に対応する体制づくりが実現します。インターカーとなるには、これまでの学生の悩みや傾向を理解すること、専門的な知識を修得すること、相談に的確に対応する技術を身につけることが必要となります。そこで、すべての教職員が講習会に参加し、インターカーとしての資質を常に磨いていきます。

75年の伝統と実績をもとに
実社会で広く求められる保育のスペシャリストを育てる

短期大学部 保育科

3つのポイント

1 「保育の聖徳」としての伝統と実績により、 長年にわたる高い就職率を維持しています。

東京聖徳学園として創設以来75年。保育科では実践力重視の伝統に基づき、「保育の聖徳」の名にふさわしい多くの優秀な人材を輩出しています。授業と実習、就職支援の連携により、幼稚園・保育所からの求人数は希望者の9倍以上を維持。卒業生はさまざまな保育の現場で活躍しています。

平成19年度
私立幼稚園・保育所からの

求人数 2,298 件

求人数 5,753 件

公立幼稚園・保育士採用試験

合格者数 82 人(児童学科含む)

2 2つのコースで専門性を高めるとともに、幅広い知識と教養を身につけます。

保育科では「幼稚園教諭コース」と「保育士コース」の2つのコースを用意。理論と実技の多様な授業を組み合わせた、ハイレベルの教育で専門性を高めると同時に、全学共通の「基礎教養科目」として各学問分野にわたる数多くの授業科目を設置。豊かな知性や人間性を育成し、専門分野に偏らない、広い視野を持った社会人を育成します。

3 「もっと学びたい」の声に応えるための、「専攻科」「編入学制度」も用意しています。

2年間の学習で得た知識や資格を基盤に、さらに上のステップをめざす学生には、「専攻科」進学への道もあります。「保育」「医療保育」「介護福祉」の各専攻科とも、大学評価・学位授与機構の認定により4年制大学と同じ学士の学位取得が可能。さまざまな専門資格取得へのバックアップも充実しています。また、聖徳大学人文学部3年次への編入学制度も完備しています。



働きながら学べる 第2部 (夜間・3年制)

保育科では、夜間を利用できる第2部を設置。仕事を持ちながらも、聖徳独自の充実した学びが可能です。

夜間を使って免許・資格を取得できます。

第1部の内容そのままに、夜間を利用して3年間かけて学んでいくことができます。働きながら、幼稚園教諭二種免許状や保育士資格の取得をめざせます。

知識も技術もしっかり学べます。

第2部の授業は、月～金曜日の夕方からと、土曜午後から。現場での教育実習などは昼間に実施されるため、第1部と同様の知識と技術が身につけられます。

多彩な仲間に触れ、視野が広がります。

年齢・職業ともさまざまな学生が集まる第2部では、互いに刺激しあい、視野が広がるメリットも。また経済面でも、授業料負担が軽くなっています。

免許・資格

幼稚園教諭コース・保育士コースとともに、幼稚園免許状と保育士資格のW取得が可能。また、図書館司書や秘書士などの資格をめざすこともできます。

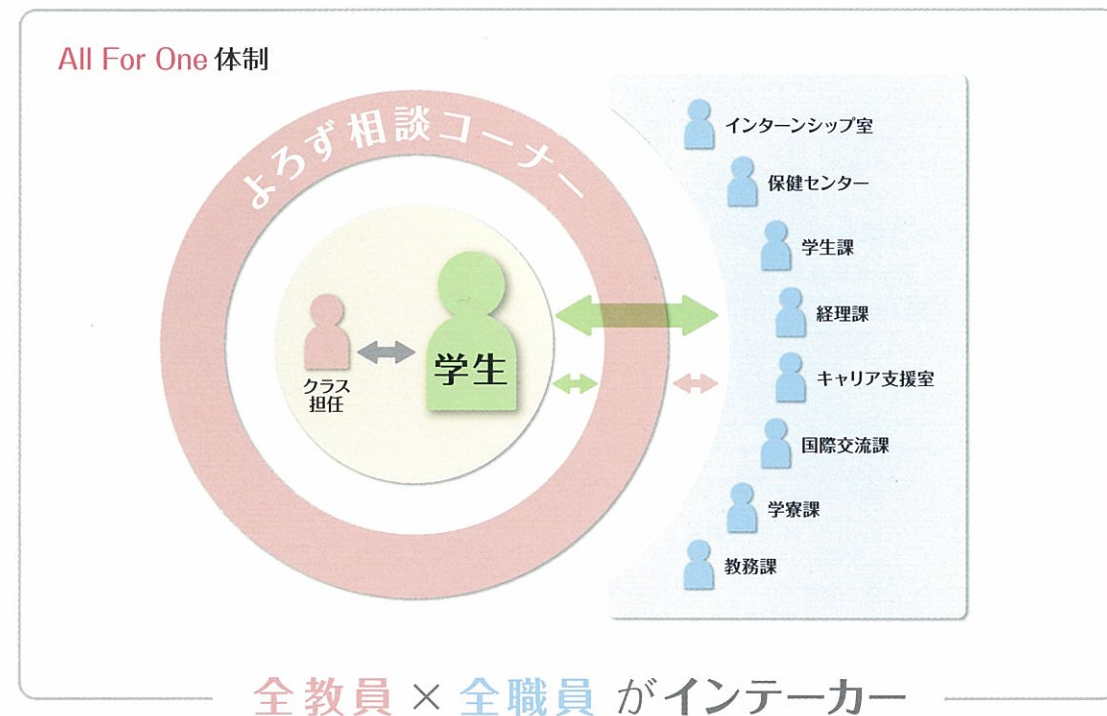
	幼稚園教諭 2種免許状	保育士資格
【第1部・第2部】 幼稚園教諭コース	取得必修	取得可能
【第1部・第2部】 保育士コース	取得可能	取得必修



All For One

よろず相談コーナーを窓口に、あらゆる悩みに対応する新組織。

クラス担任を介して対応していたこれまでの体制に加え、すべての教職員が学生一人ひとりに対応する新組織をスタートしました。
 よろず相談コーナーは、学生のための相談窓口として機能。
 いつでも相談を気軽に持ち込める場所が存在することは、学生たちにとっても大きな安心感となります。



1 全教職員がインターカーとなり、All For Oneを実践。

学生が必要としている時に、いつでも誰でも最適な支援を受けられる体制。
 これが『All For One』です。この体制づくりのためには、すべての教職員が常に学生一人ひとりと向き合い支援していくという意識、そして知識・技術が必要となります。
 そこで、すべての教職員をインターカーとして養成するための講習会を初年度の2回はほぼすべての教職員、次年度には新採用者対象に実施しました。
 また、終了時には全員に知識確認テストを行いました。



講習会の様子

2 学生が、いつでも何でも相談できる、よろず相談コーナーの新設。

どんな悩みや不安であっても、「そこにいけばいつでも相談にのってもらえる場所」としてよろず相談コーナーを新設。
 保育科全教員が3時間半ずつ、毎日3交代で待機しています。
 悩みの内容によって、誰に、またはどこに相談するべきかを迷うことなく、まずはよろず相談コーナーに立ち寄ってもらうことで、スピーディーに不安を取り除くことを目的としています。
 気軽に立ち寄れる雰囲気づくりのため、入口側はソファを配置したオープンスペースに。
 また奥に設置された個人相談ブースはプライバシーに配慮したスペースとなっています。
 併せて「みんなの広場」を開設し、保育科学生の交流の場としました。



みんなの広場



よろず相談コーナー



健康支援テキスト「わたしのこと」

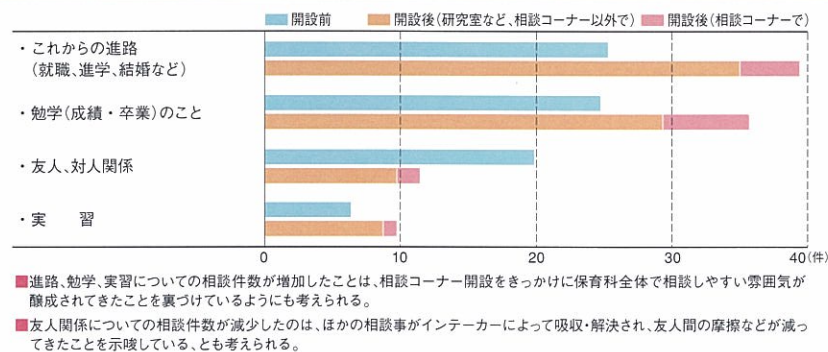
3 女性の健康支援、メンタルヘルス支援を新たな体制で強化し、実践。

これまでも心やからだの健康に関する相談は、保健センターが中心となって力を入れてきました。
 最近は、女性特有の悩みや保育者を目指す者としての悩みが増えています。
 そのため、新体制では「女性健康支援部会」を新設し、さらに保健センターとの連携を深めています。
 プレ相談によって、日常的な健康上の悩みや不安をいち早く把握、対応を検討し、インターカーに反映しています。
 また、「健康で大学生活をおくり、保育者を目指して欲しい、卒業後は子どもたちをしっかりと保育してほしい」と願い、健康支援のテキスト「わたしのこと」を作成しました。
 学生にこのテキストを配布するとともに、自分自身の健康について振り返らせ、意識化を図りました。

*** 取り組みの効果 ***

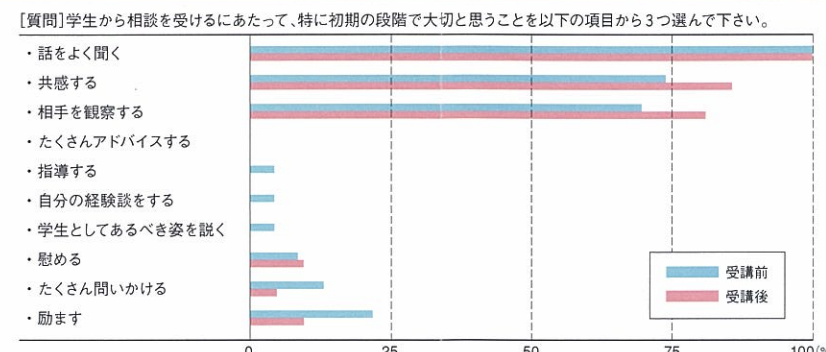
〈学生の相談〉

「よろず相談コーナー」開設の前と後で、保育科全教員が受けた主な相談総件数(1ヶ月平均)の変化



〈教員の意識〉

インターカー講習会受講の前と後で、[質問]への正答として各項目を選んだ割合の変化



〈職員の意識〉

インターカー講習会受講後の記述式アンケートより

保育科学生と関わりの少ない部署からの感想

※保育科のカリキュラムの大変さを学べた。「All For One」の気持ちは、人として大切にしなければいけないことなので、浸透していれば学園全体も良い方向に変わっていくと思う。(生涯学習課)

※学生からの相談に対し、きちんと担当の部署や教職員への橋渡しが行えるよう、心掛けていきたい。保育科の学生に対する教育内容がいまさらながら詳細にわかった。(財務調整課)

保育科学生と関わりの多い部署からの感想

※決して一人で判断するのではなく、ケースバイケースでそれぞれの専門家に相談することが大事であることを再認識した。(教務課)

※「インターカー」としての役割を具体的に感じることができた。学生対応の難しさを改めて感じたが、今回学んだこと、感じたことをこれからの業務に活かしていきたいと思う。(学生課)

聖徳大学短期大学部 保育科

あなたの想いを未来にリンク。その夢、きっと叶う。

子どもが好き。私たちがあなたの想いを全力でサポートします。
独自のカリキュラムで、資格や免許、技術や知識をしっかりと身につける。
プロとして大事なハートも学ぶ。アタマもココロもピカピカに磨いて、
一緒に保育のスペシャリストを目指しましょう。

楽しい授業

人形劇を中心に幼児の遊びを学びます。物語から人形づくり、音楽、発表までのすべてを体験。他の短大では見られない聖徳・保育科ならではの授業です。

役立つ授業

本物そっくりの赤ちゃんの人形を使って、乳幼児への対応を体験学習します。病気やケガ、事故などにどのように対応したらよいか、基本的な看護ケアも学びます。



学生生活委員長
教授 野原 八千代

保育科では、子どもは「どんな風に育っていくの」、「どんな遊びに関心があるの」、「こんな時どんな気持ちになるの」など、子どもについてたくさん学んでいきます。その学びの過程で、あなたが、楽しいとき、困ったとき、つらいとき、お話しに来て下さい。全教職員があなたのサポーターです。楽しくまなびましょう。

親身な授業

少人数制で一人ひとりの進度に合わせて指導。基礎となるバイエルから童謡、唱歌と学び、確実に基礎を身につけます。就職時に「役立つピアノ」を学びます。

うれしい授業

就職難易度が高まっている公立幼稚園教諭・公立保育士の採用試験突破に向けて、1年次の秋から「公立対策講座」をスタート。勉強方法や問題の傾向などを丁寧に指導します。



保育科(第1部)長
教授 古橋 和夫

保育者の小さな援助で、子どもたちの遊びは大きくひろがります。子どもの伸びる力⇔教師の力。これは幼児教育の要点です。そして学生支援「All For One」にもつながっています。



聖徳大学
聖徳大学短期大学部

SEITOKU

【お問い合わせ先】 聖徳大学・聖徳大学短期大学部 学生課
〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 TEL.047-365-1111(大代表)
<http://www.seitoku.jp/univ/>



聖徳学園は全学園で
ISO9001・ISO14001を同時認証取得
[2003年11月18日] (教育機関として日本初)



教育の質マネジメントシステム ISO9001
環境マネジメントシステム ISO14001



聖徳大学・聖徳大学短期大学部は
地球温暖化対策として「チーム・マイナス6%」に参加しています。

